

公表：令和5年 3月 16日

事業所名 ハッピーテラス戸畑駅前教室02(放課後等デイサービス)

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用人員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	4			使用目的に合わせて、お子様が集中しやすい環境設定を心掛けています。	
	② 職員の配置数は適切である	4			基準配置2:10を上回る人員配置を行い、多職種のスタッフで療育の提供を心掛けております。	
	③ 事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4			教室の入口より必要な段差はなく、お子さまの特性を踏まえ、時間や空間を分かりやすく、構造化した作りを務めております。活動への安心や集中を促す事が出来る様に、席や机の高さの配慮など一人一人の支援につなげております。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに)、広く職員が参画している	4			全職員が運営改善に関わり、PDCAサイクルにより業務改善・品質の向上に努めています。	
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			毎日の療育の中で個別にお話を伺い、意向や満足度の把握に努めております。またまた3か月毎に一度モニタリング、年1回アンケートも実施し、返答や改善に取り組む方針です。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			職員一人一人が評価を行い、評価結果を元に協議し、改善策等に取り組んでいます。また自己評価をハッピーテラスホームページやタリコ発達ナビにて公表しております。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			半年に一度本部より評価があります。評価内容を真摯に受け止め、改善に努め積極的に取り組んでおります。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1		本部の主催する初任者研修を始め、職員が外部で実施される研修会等に参加出来るように、年間計画を立て参加出来るように心がけております。	今後もオンラインを通じての参加に努めていきます。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			弊社で開発したアセスメントツールの活用と、お子様の発達状況や家族状況、お子様や保護者の意向を適切に把握する事を行っています。またお子様に合わせた支援計画作成に多職種の職員が携わっております。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			現在ハッピーテラスでは、明星大学教授、竹内先生に監修を頂いたアセスメントツール等を利用して、来所されるお子様たちの適応行動状態を図っています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	4			その日に利用するお子様の支援計画に基づく支援経過や課題を確認し、よりよい立案が出来るよう努めています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1		お子さまの様子を観察し、楽しんでトレーニングに参加出来る様、毎回考案し進めております。	お子様の特性によって、固定化が好ましい場合もある為、特性を踏まえた取り組み内容を行っています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		個別療育の為お子様のご家庭や他施設での様子や状態を把握し、今後も個別支援計画書に沿って支援してまいります。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	4			個別活動のみを利用されるお子さまには、可能な限り集団活動の場の提供を行い個別活動、集団活動を適宜組み合わせさせて計画書を作成しております。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			職員間ではトレーニング内容や流れ、お子様の状態や留意すべき点を情報共有し、役割分担などの確認を行います。	
	⑯ 支援終了後は、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		トレーニング後は、職員間で変化のあったお子様の支援内容や状態、その他ご家族等の共有を行っています。	次回への継続支援に繋げていくことが出来る様に職員間での共有に努めていきます。
	⑰ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			個別支援計画に基づく支援に対する記録を基本に、その日の状況等を毎回詳細に記録しております。	
⑱ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4			3ヶ月に一度モニタリングと言う形で保護者の方と成長の変化を共有しています。また職員間での評価も行い、見直しの必要性について確認し更新しています。		
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	1		個別支援計画書に沿った内容で、複数の活動を組み合わせる支援を行っています。		

関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			児童発達管理責任者や担当が役所や相談支援事業所、他事業所等と連絡、共有を図っています。	
	㉒	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	1	1	2	保護者送迎となっていますので、トラブル等は保護者の方より伺います。保護者の方のご希望を伺いながら不定期に行っております。	今後は必要に応じて行っていきます。
	㉓	医療的ケアが必要な子ども場合を受け入れる場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—		医療専門スタッフが在中でない為、医療ケアが必要なお子様は受け入れておりません。
	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で、情報共有と相互理解に努めているか	2	2		保護者の方にご希望を伺いながら直接訪問やお電話等で支援内容の共有や相互理解を図っております。	今後とも連携を取りながら相互理解に努めています。
	㉕	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	1	福祉事業所・保護者より依頼があった場合に、申し送り書等作成し、情報共有を図る方針です。	保護者の了解を得た上で、子ども本人の発達の状況や障害の特性、支援内容等の情報共有を図り、円滑に引き継がれるよう努めています。
	㉖	児童発達支援センターや児童発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			必要に応じて相談や訪問での情報共有を行っております。今後とも研修への積極的参加や関係強化に努めていく方針です。	
	㉗	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4		個別療育の時間内に障害のないお子様と触れ合う時間は設けておりません。今後要望や該当があれば検討してまいります。
	㉘	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3		1	コロナの関係で今年度は地域で行われる研修への参加はオンラインのみ参加しております。	今後ともオンラインを通じての参加にも努めています。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			保護者の方にご観覧頂き、近況の状況やお子様の発達・課題について話をする時間を設け、共通理解を図る様に努めております。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	2	1		保護者の方へ3か月に一度のモニタリングの中で家族支援も行ってあります。また観覧の中で時間を設けておりますので、家族支援のアドバイスがスタッフ一同出来る様に努めてまいります。
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			ご契約時に1時間程お時間を保護者の方に頂きまして丁寧に説明をさせて頂いております。また質疑にもお答えさせて頂いております。	
	㉜	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			トレーニング後の保護者の方との共有や相談の時間、3か月に一度のモニタリングの時間、その他LINEやお電話にて助言や援助等対応を行っております。	
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			4		保護者会は現在行っておりません。トレーニングの時間に観覧席も設けておりますが、コロナ感染予防の観点より人数制限させて頂いております。今後ともご意見やご要望がありましたら検討させていただきます。
	㉞	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			お子さまや保護者の方が悩みを一人で抱え込まない様に、相談には適切に応じ、信頼関係を築くことが出来る様に努めております。今後とも専門的な助言が出来る様に努めてまいります。	
	㉟	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			会報との形での発行はしてませんが、紙面での周知、リタコ発達ナビを利用してブログを毎日（活動内容やイベントをお知らせ）発信しております。	
	㊱	個人情報の取扱いに十分注意している	4			お子様・ご家族に携わるすべてのスタッフに、業務上知りえた情報を漏らす事が無いように契約書の提出を行っております。書類もキャビネットにしまし、パソコンにもパスワードをかける等の対策を行っております。	
	㊲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			SSTカードや視覚教材など利用し、必要に応じて行ってあります。保護者の方へは毎時間療育の記録のコピーや毎月の評価表をお渡したり、時折観覧の時間を利用してお話をさせて頂いております。	
非常時等の対応	㊳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4		個別トレーニングが主の為、事業所としてのイベントは行っておりません。ご希望があれば検討してまいります。
	㊴	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			職員へのマニュアルは作成してあります。訓練・実施については随時行っていますので、今後も計画的に進めて参ります。	
	㊵	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			定期的な訓練（火事・地震・ウィルス対策）を想定したサーキット運動や紙芝居等を実施するなどお子様の理解促進にも努めています。また今年は引き渡し訓練も保護者の方にご協力を頂き行っています。	
	㊶	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			年に一度社会福祉協議会が主催する虐待防止研修に参加し、全職員へ共有を図り、チェックリストを実施する等努めております。	
	㊷	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			保護者の方には契約の際、ご確認・承諾を得ています。また新しく個別支援計画を立案させて頂く際にも必ず書面と合わせてご説明し、了解を得た上で身体拘束等対応をさせて頂いております。	
	㊸	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			4		食事アレルギーの有無については初回利用時に確認させて頂いております。食事提供や飲み物の提供は行ってない為指示書は頂いておりません。今後とも留意しながら支援していきたいと思っています。
㊹	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				ヒヤリハット報告書作成時には、職員及び管理者に共有を図っており分析も行っております。	